

2022 年度実施概要

学校名

気仙沼市立大島小学校

採択活動名

緑の真珠プロジェクト ～見つめよう大島 考えようわたしたちの海～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 大島の自然の豊かさにふれて	3年	総合
2. 大島の海の豊かさを感じて	4年	総合
3. 大島の海を見つめて	5年	総合
4. 大島の海と生きる	6年	総合

取り組みの概要

<p>海洋教育に関わる学習活動としては、1・2年生は生活科との関連、3年生以上は主に総合的な学習の時間との関連により取り組み、また、各教科の中にも、海洋教育の理念を進んで取り入れ、海洋教育副読本を活用しながら実践を行ってきた。主な実践内容は以下のとおりである。</p>	
全校	<ul style="list-style-type: none"> ・海に親しむ集い…縦割り班による清掃活動、砂の造形展 <p>7月に小田の浜で実施した。清掃活動では、自分たちが住む大島の美しい海を、きれいにしたいという気持ちが子供たちから表れ、一生懸命作業に取り組んだ。海開きはあったものの、ごみの量が少なかったことから、訪れた人々が海を大切に使っていて、自分たちもそうしたいと感じた児童もいた。</p> <p>砂の造形展では、児童会が中心となり、気仙沼や大島に相応しいテーマを考え、縦割り班ごとに行った。全校児童が大島の浜、海を身近に感じるとともに、自分たちの住む地域の海が自慢できる場所であると感じることができた。</p> <p>例年実施している水遊びについては、コロナの影響でマスクを外すことができないということもあり、中止となった。</p>
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・生活科「海となかよし」 <p>小田の浜へ行き、貝やシーグラスを拾い、材料として利用する工作活動を通して、海に親しんだ。</p>

3年	<ul style="list-style-type: none"> ・大島の浜散策をもとにした児童の探究活動 <p>今年度から海洋教育の導入として、3年生でも総合の時間に海に関する学習を行った。若木浜、十八鳴浜、田中浜の共通点や違いを観察、体感することで、大島の海について、興味・関心をもつことができた。</p>
4～6年	<ul style="list-style-type: none"> ・養殖体験をもとにした児童の探究活動 <p>今年度も大島漁協青年部の方々にご協力いただき、4年生がワカメ、5年生がカキ、6年生がホタテの養殖体験を行った。そこから、各学年が実態に応じた課題をもち、調べ学習や地域の講師の方々との関わりを通して、児童一人一人が海に対する問いをもち、探究的に学びを深めることができた。</p> <p>また、探究している中で生まれた興味・関心や疑問をもとに、大島漁協青年部の方や東北工業大学の教授から講話をいただき、様々な視点で海の恵みについて考えられるようカリキュラムを進めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他校との交流活動（5年・東京都 駒場小学校 6年・海洋教育サミット in 東北） <p>自分たちが学習してきたことを相手に伝えたり、自分たちの取組とは違う地域の活動を知ったりすることで、自分たちの住む地域のよさや、海によって様々な地域や人がつながっていることを改めて感じる事ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海洋教育発表会 <p>年間を通し活動してきたことについて、自校での発表会を行った。今年度は、コロナ禍前の形で、保護者や各校の先生方をお招きし、実施することができた。</p> <p>これまで大島の海を通して学んだことを子供たちが振り返り、ふるさと大島に誇りと愛着をもつとともに、持続可能な海との関わり方について今後も進んで考え、行動していこうという意欲につながる時間となった。</p>



低学年：海のものを使った工作



3年：十八鳴浜散策



4年：ワカメの種挟み体験



5年：カキ剥き体験



6年：ホタテの分散体験



3～6年：海洋教育発表会